

大学の世界展開力強化事業 H26取組概要 明治大学

【構想の名称】(選定年度24年度(申請区分(I)))

日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

たくましい「現場力」および日本と東南アジアに関するリテラシーを持って、将来、ビジネスパーソン、ジャーナリスト、建築家、NGO、公務員など多くの実務分野で国・地域を跨いだ懸け橋となりうる実務型リーダーを、日本とASEAN諸国の双方に育成。

【構想の概要】

国際共同コンソーシアム内での共同教育プログラム、本学海外教育拠点での各種プログラム等、長短期様々な教育プログラムを通じて、5年間で日本人送り出し530名及びASEAN側学生受け入れ515名、合計1,045名の交流を目指す。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ ASEAN各国トップ校との連携

ASEAN大学連合加盟校を中心とする各国トップ校(7カ国17校)との連携を深化。単位取得を伴う学生交流を拡大。



〈理工学研究科による合同ワークショップ〉

■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

○ 各種派遣・受入プログラムの実施

長期の協定留学(交換留学)に加え、複数の学部・研究科がアセアンセンターを活用した短期プログラムを実施。(政治経済学部、情報コミュニケーション学部、農学部、大学院理工学研究科等)。またタイに加え、デ・ラ・サール大学やアテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)、ホーチミン市国家大学人文社会科学大学(ベトナム)、ラオス国立大学等のアセアンコンソーシアム大学と短期プログラム等を開発し、学生交流を実施している。

○ 日本語・日本文化交流(SEND)の実施

学部で実施する夏期短期プログラムと連携し、協力校であるタイ(泰日工業大学)、ベトナム(ハノイ国家大学外国語大学)でSEND活動を実施。

○ 双方向での遠隔授業実施

協力校であるタイ・シーナカリンウィロート大学内に開設している本学アセアンセンターを活用し、本学・シーナカリンウィロート大学双方の学生に対し、いずれも単位付与を伴う遠隔授業を実施(「東南アジア理解講座」「Japan Today」)。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

協定校数の増加に伴い、平成26年度には12名の本学学生がタイの協定校へ長期留学。東南アジアで活動を展開する国際機関やタイ北部の少数民族集落での実務実習を経験し、異文化理解・適応能力を磨いた学生も。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	17人	139人	127人	135人	160人
学生の受入	10人	86人	115人	130人	155人

注)H24-H26は実績、H27以降は計画

○ 外国人留学生の受入れ

アセアンセンターによる、本学及び本事業で実施するプログラムの周知、またプログラムを利用して本事業協力校を訪れる本学学生数の増により、協力校学生の日本及び本学に対する興味が高まり、結果として本学が提供する短期プログラム及び中長期プログラムで多数の学生を受入。



〈ベトナムからの学生受入プログラム〉



〈アセアンセンターにおける遠隔授業〉

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ アセアンセンターへの常駐者配置

同センターに日本人及びタイ人各1名の常駐者を配置し、タイへ赴く学生に対しては生活支援・学習サポートを、タイから本学への留学を希望する学生に対しては渡日前日本語研修や留学情報の提供を行っている。

■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況 情報の公開・成果の普及

○ 専用ホームページの運用

本事業によるプログラム実施の様子などを学内外に広く発信するためにホームページを開設している。これまでの日本語版に加え、新たに英語版を立ち上げ、より広い範囲に情報を発信。